

# 平成27年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

## I 自己評価

|   |   |  |
|---|---|--|
| 1 学校教育目標  | 校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、現代社会に貢献できる人間の育成に努める。  |  |
| 2 評価する領域・分野   | ◇研修   |  |
| 3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等  | 保護者対象のアンケートでは、授業公開、保護者との連携、教育相談体制、少人数指導等個に応じた指導など、学校教育活動全般に対する肯定的な評価は80%弱で推移しており、おおむね肯定的に評価されている。しかし、「授業を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている」の肯定的評価が70.8%に留まることや、生徒の授業満足度の教科間のバラツキなど、未だ改善の余地がある。                       |  |
| 4 今年度の具体的かつ明確な重点目標  | ◇「アクティブ・ラーニング」の導入による授業改善と指導力の向上。いじめや不登校、発達障害等に関する生徒理解及び対応能力の向上。   |  |
| 5 重点目標を達成するための校内における組織体制  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企画委員会、生徒指導委員会、人権教育委員会</li> <li>• 分掌会、教科会、学年会</li> </ul>  |  |
| 6 目標の達成に必要な具体的な取組   | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標   |  |
| (1) 授業公開の積極的な実施と指導主事の招へい、教員による相互評価、管理職による授業参観と指導・助言、自己啓発面談。<br>(2) いじめの早期発見・早期対応、生徒理解と発達段階に応じた指導の在り方を学ぶ。  | (1) 生徒及び保護者アンケート、教員の相互評価、生徒対象の授業アンケート（満足度調査）結果<br>(2) 生徒対象生活アンケート（迷惑調査）、M2-D V（生徒自己理解調査）結果、保護者対象メールアンケート  |  |
| 8 取組状況・実践内容等  | 9 評価視点  | 10 評価  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 年2回の授業公開週間を設定、外部評価を受けるとともに職員相互の授業評価を実施。</li> <li>• 管理職による授業参観、自己啓発面談、指導主事を招き「アクティブ・ラーニング」の全体研修と授業研究（英語科）を実施。</li> <li>• 生徒に関する教員間の情報共有を図るとともに、発達障害等、新たな課題への研修を実施。</li> </ul> | ①教科の枠を越えた授業参観及び相互評価を通して、授業力が向上できたか。<br>②いじめ・不登校等に対する理解を深め、適切に対応する方法を学び実践できたか。   | A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/><br>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> |
| 11 成果・課題  | (成果)<br>○県教育委員会指導主事を招いた職員研修で「アクティブ・ラーニング」の基礎基本を学ぶとともに、個別教科で授業研究を行うことができた。<br>○各種調査からいじめ等の予兆を早期に発見し、早い段階で対処することができた。<br>(課題)<br>▲「アクティブ・ラーニング」は全ての教科で研究する必要がある、情報機器等の活用等、授業展開のさらなる工夫が必要。                   |  |
| 12 来年度に向けての改善方策案  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ESD推進と「アクティブ・ラーニング」の実践のため、先進事例の視察や外部人材を有効活用し、様々な教育手法を学ぶ機会を設ける。英語以外の教科でも指導主事を招いた研究授業を企画していく。</li> <li>• いじめ等の把握の有効な方策の研究、職員間の情報共有の仕組み、問題発生時の速やかな対応の研究。</li> </ul> |  |
|   | 総合評価<br>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>   |  |

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成28年2月12日

### 【意見・要望・評価等】

- 授業に興味向けば、いじめも不登校も減少していくと思われます。
- 外部との交流を密にし、グローバルに物事を考えるように指導をお願いしたい。
- 「アクティブラーニング」への理解を職員内でも深めていき、授業が自由な発想で作上げられていくことを願っています。
- わかりやすい授業のための取り組みやアクティブラーニングは、その成果が待たれていると考えています。